

PLDD（レーザー治療）のご案内

対象疾患：椎間板ヘルニア

椎間板ヘルニアに対する画期的なレーザー治療装置が当院に設置されています。

従来の椎間板ヘルニアに対する主な治療に、薬・リハビリ・神経ブロック治療がありますが、適用の限界と短時間で再発の問題、全身麻酔下の手術では神経を傷つける危険性や術後の合併症、約1ヶ月の入院が必要などの問題があります。

■PLDDの利点

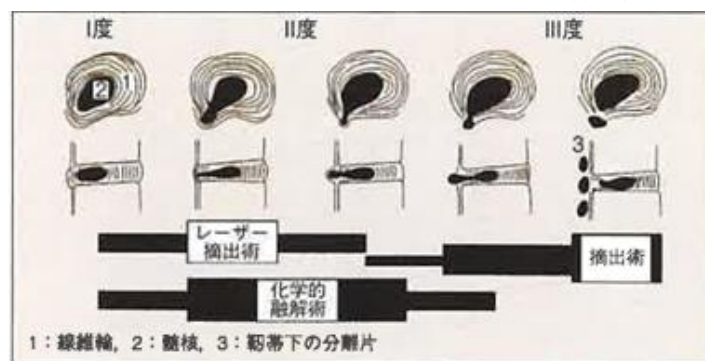
- 無出血
- 局所麻酔
- 短い入院期間
- 傷がほとんど残らない
- 副作用がほとんどない

■手術手順（約30分）

- 1, 麻酔のための注射を行う
- 2, 針（直径0.4mm程度）を椎間板髄核中央に挿入する
- 3, 2方向からのX線透視にて、位置を確認する
- 4, 針よりレーザーファイバーを挿入し、約10分間レーザー照射を行う

■適応症例は？

全ての症例に効果があるわけではありませんが、下記のヘルニアに有効性を認めます。



■レーザー光線が、椎間板ヘルニア症になぜ効果があるの？

椎間板ヘルニアによる痛み・しびれ等は、腰の骨の間でクッションの役目をしている椎間板が後ろに飛び出して、足に通じる神経を圧迫して起こっています。レーザーで椎間板の内に空洞を作ることにより、内圧をさげて神経への圧迫を除きます。

■治療効果はどれくらい続くの？

術直後、1週間・1ヶ月・3ヶ月と時間の経過とともに良くなっていきます。

改善の程度は患者様の年齢や状態によって異なりますが、約80%の有効性が認められています。

■治療をご希望の方へ

- ・医師の診察を受診してください
- ・入院期間は基本的に2日程度です
- ・レーザー手術後、1週間、2ヶ月、3ヶ月後にはご来院ください

■自己負担について

最新治療の為、保険適応外となり、自費診療になります。

	費用
1椎体	300,000円
2椎体	135,000円
2椎体目が不可の場合の加算	45,000円

※上記料金には、別途税が上乗せされます。

